

令和2年度 福岡市立 [箱崎中] 学校 学校評価実施状況(公表用)

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
<p>○めざす学校像</p> <p>①生徒が楽しく、存在感を実感できる学校</p> <p>②校舎が美しく、安心・安全な学校</p> <p>③基礎学力や「生きる力」を身につけさせ進路を保障する学校</p> <p>④地域と共に成長し、保護者・地域から信頼される学校</p> <p>○めざす生徒像</p> <p>①すすんで挨拶・掃除ができる生徒</p> <p>②目標をもち、学習や行事等に生徒同士団結し、真剣に取り組む生徒</p> <p>③差別を見抜き、差別を許さない、たくましい実践力のある生徒</p> <p>④自己有用感を高め、コミュニケーション力を培う生徒</p> <p>○めざす教師像</p> <p>①生徒にメリハリ(優しく・厳しく・温かく)をもって接する教職員</p> <p>②協調・協働の思いをもち、教育活動に励む教職員</p> <p>③課題意識をもち、職能成長をめざす教職員</p> <p>④保護者や地域社会との連携を密にし、信頼される教職員</p>		学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・全学級で授業公開を行い、同教科や同学年の授業を参観し、互いの授業改善に役立つ。 ・家庭学習の定着につながる「箱崎ノート」の有効活用法について検討していく必要がある。
		不登校生徒の未然防止と解消	<ul style="list-style-type: none"> ・進路保障のための支援計画を生徒個々に作成する。 ・定期的に面談を行い、オンライン授業を効果的に取り入れる。 ・ステップルーム保護者会を立案し、計画的に開催する。 ・「すこやか」を有効活用して、小学校との連携を深める。
		活力のある生徒指導体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・より機能的、効果的な生徒指導組織の構築を図る。 ・生徒会を中心として、自治活動の活性化のための取り組みを行う。 ・SNS等のネットトラブルに関する啓発を行うため、外部講師を招聘した講演会を保護者を対象に開催する。
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
○確かな学力の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の充実を図り、全教科で毎時間めあてとまとめを明確に示すとともに、課題解決学習を取り入れた共通実践を行う。 ・「箱崎ノート」を活用した家庭学習を、担任・学年職員による点検及び助言を行い、家庭学習の定着を図る。(提出率95%以上) ・教科部会にて、ICTを活用した授業の教材研究や、教材のデータベース化による共有財産を教科内で協力して確立する。 ・学力テスト結果の分析、生徒による「授業についてのアンケート」を実施・分析し、教員の授業改善に取組みに生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修として10月に音楽科、11月に国語科の公開授業を行い、授業改善の手本となった。その後、全教科で研修テーマに沿った公開授業を行い、同教科や同学年の参観をして互いの授業改善を図った。また、課題解決学習を取り入れたことで、ICTを効果的に活用して教科に対する生徒の興味・関心が高まってきている。 ・「箱崎ノート」の取組みは、教員、生徒ともに定着しており、家庭学習の定着につながっている。また、工夫が見られるノート等を学級で紹介したり、廊下に掲示したりしながら、日々の取組みを称賛することで自尊感情を高めている。 ・各学力テストにおいては、福岡市の平均点とほぼ同程度であるが、学力の二極化が見られる。 	
○いじめ・不登校の未然防止の推進及び早期発見・早期対応に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒の進路保障のための支援計画を作成し、個に応じた支援を行う。 ・毎月10日「いじめゼロの日」にいじめアンケートを実施・分析し、いじめの早期発見を行う。 ・SSW、SC、関係機関等と連携し、「すこやか」を活用しながら計画的に小学校を交えたケース会議を開催する。 ・年間計画にステップルーム保護者会を計画し、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二者面談や三者面談を基に、オンライン授業を効果的に取り入れたことで、生徒の学習に対する不安が解消されてきている。 ・いじめアンケートは毎月(100%)実施することができた。アンケート結果を基に、情報を集約し、教員間で共有しながら、生徒間のトラブルの対応や教育相談などを行うことができた。 ・週1回の生徒指導委員会にて情報を共有したり、SCやSSWを通して小学校や各関係機関と連携した取組みを行うことができた。ただ、コロナ禍のため小学校を交えたケース会議は実施することができなかった。 ・コロナ禍のため、ステップルーム保護者会は実施せずに、必要に応じて個別に面談を実施した。 	
○基本的生活習慣の育成に徹底した生徒指導の推進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・組織体として全校生徒を全職員で育てる意識を持ち、機能的な生徒指導体制を確立する。共通実践を通して共通理解を行う。 ・生徒会を中心に、専門委員会等の充実を図り、生徒主体の取組みを推進する。 ・週1回の生徒指導委員会の状況報告と指導改善に向けた協議を行うとともに、週1回職朝で全教員への周知を図る。 ・毎月1日の「安全の日」に安全点検を行い、施設の営繕と環境美化に努める。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の情報共有や迅速な対応等はおおむね達成することができている。登校指導や日常の見回りなどを通して、教員の危機意識を高める必要がある。 ・体育大会、クラスマッチ、合唱コンクールの三大大行事中止のため、生徒が主体的に取り組む場面が少なくなってしまう。そのため、各学年行事や、生徒会と連携した取組みを行っている。 ・週1回の職朝で生徒指導に関する内容を職員に周知し、共有することができた。 ・校舎の老朽化が進んでいるため、安心安全な校舎になるように修繕等を行った。また、月1回の安全点検では、施設の営繕と環境美化に努めた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を実施した。 	
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、新生活様式に基づいた授業を行っている。 ・次年度も同じような新型コロナウイルス感染の状況が続くため、生徒の学力保障を第一に考えてほしい。生徒の学力がどの程度定着しているのか、生徒の実態を把握し、つまづきを分析してさらなる学力の向上を図ってほしい。 ・学習定着度調査の共通した課題は、読解力、観察力、分析力であると考え。ディベートや要約などの学習を取り入れてほしい。 ・学校行事が中止となり、生徒の様子を見ることができずに残念である。早く元の状態に戻り、生徒が頑張っている様子を見たい。 ・学力を身につけるとともに、一人一人の進路実現に向けた進路保障を確実に行ってほしい。また、コロナ禍において、経済的に厳しい家庭環境の状態を速やかに把握し、行政と連携した取組みを行ってほしい。 ・ICTが入ったことで今までの学力観が異なってくるのではないと思う。また、情報モラルに関する教育を実施して生徒が事件や事故に巻き込まれないようにしてほしい。 ・コロナ禍における差別をなくすとともに、命の大切さをしっかり教えてほしい。 			